

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター つぼみ園			
○保護者評価実施期間	2024年10月17日 ～ 2024年11月1日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	2024年10月17日 ～ 2024年10月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	22
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	常駐の発達相談員がいることで、保護者や職員がいつでも相談できること。	園児のことで保護者・職員が共に悩んだり、より話を深めたいときには、発達相談員にも共有するようにしている。	発達相談員と保育士とは日常的にも更に連携を深め、保護者と園児のことをより良く理解できるように努力していく。
2	多くの保護者が園への送迎をしてくれているので、保護者とのコミュニケーションがとりやすいこと。	園児の様子や連絡ノートから、保護者と連携をとりたいときは、その当日、迅速に相談できます。	毎日会える保護者は勿論のこと、送迎の保護者とも電話連絡やノートのやりとりの工夫で、園児の様子を共有し、安心して通園してもらえるよう努力していきたい。
3	給食については園の調理室で提供しているので、偏食対応がすぐに見える。	メニューを見て大方の予想をつけて、事前に準備しています。園児の特性を知り、楽しく食事できるよう、食材の対応をしている。	家庭での様子や給食時の様子も調理員とも連携し、園児が少しずつ食への気持ちの広がりや興味が持てるように今後も食事提供していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	きょうだい支援が不十分なところ。	きょうだいに参加できる行事はありますが、きょうだいさんをメインに企画した催しはなく、園児や保護者主体で開催していました。	行事は交流の場でもありますので、今後は保護者の方にも意向を聞きながら、必要に応じて内容を充実できるように検討していきたい。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		つぼみ園		公表日		2025年1月10日					
				利用児童数		2024年11月1日		回収数		31	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	1	0	0	・現在の人数であれば、確保されている と思う。	園児数に対して、法定基準は満たしている ので、今後もできるだけ広く部屋を使 えるよう工夫していきたい。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	1	0	0		基準は満たしている。また、保育内容に 応じて職員を配置したり、その都度の対 応もしている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	1	0	1		建物の構造上、見通しのよくない箇所も あるので、より一層子ども達が安全で安 心できる環境を作っていきたい。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	1	0	0	・部屋や階段に、ごみやほこりが落ちて いることがある。	ご指摘のようなことがないよう、毎日、 清潔を心掛け、清掃を徹底していき たい。子ども達が気持ちよく過ごせる空間 にし、不快な思いをさせないよう努力し ていきたい。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	30	1	0	0		日々、子ども達と接する度に、変化への 気付きや、特性の理解を心掛け、共有し 保育にあたるよう、今後も専門性を磨 き、努力していきたい。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	13	0	0	18		事業所内で丁度完成させたばかり（11 月）で、まだ公表できていない（年度内を 予定）。そのため、まだお知らせができて いないが、支援プログラムには園の支 援内容を記載している。			
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	31	0	0	0		発達相談時ごとに、保護者の記入用紙が あり、思いを記入していただいている。 そのことを踏まえ、個別支援計画を作成 するよう心掛けている。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	1	0	0		支援に必要な内容を設定しています。一 人一人に合わせて更に検討していき たい。			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	0	0	0		支援については計画に沿った内容で、保 育に組み込むようにしている。引き続き 支援内容の理解を深め、園児に対してよ り丁寧に接していけるよう努力してい きたい。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	31	0	0	0		固定化しないよう、計画段階においても 日々においても意識しています。飽きの こないよう工夫したり等心掛けている。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	13	6	4	8	・計画しているとの事で、楽しみです。	12月に計画している。初めての試み なので、まずは5歳児の午後の活動の中 で取り組み、保育所の5歳児さんと交流 する予定。			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	31	0	0	0		入園説明会で1つ1つの項目に対して説 明する機会を設けているが、さらに丁寧 にお伝えできるよう努力していきたい。			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	0	0	0		発達相談時に計画書を提示しながら、説 明を実施している。今後も更にわかりや すく説明できるよう努力していきたい。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	31	0	0	0	・保護者教室や交流会で悩み相談や日頃 の対応等を伝えてくれている。	月3回程度、親子保育や保護者教室日を 設定している。学習の機会や、子どもの 様子を一緒に確認し合い、共有し理解を 深めていただける機会にしている。その 他、家族も参加できる行事も設けてい る。			

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30	0	1	0	・子どもとの会話だけではわかりにくい園の様子も、連絡ノートやお便り、送迎時に伝えてくれるので有難い。	登降園時や連絡ノート、また電話等で子どもの様子について情報交換し、共通理解に努めている。今後も更に丁寧に、園からの発信、気付きも含め保護者の方々とコミュニケーションをとっていき、嬉しい事や課題について共有していきたい。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	1	0	0		定期的に年計画の中で面談や交流の機会を設定している。発達相談やグループ懇談（各年2回）、家庭訪問や各面談。また、その都度の保護者の方々のニーズについても対応している。今後も更に窓口を広げ、気軽に面談・相談できる雰囲気を作りかけたり、園からの発信で声がけさせていたり、相談できる環境を作っていきたい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	0	0	0	・ノートのコメントだけでなく、対面時でも声かけしてくれて、心強くとても救われる。	保護者の気持ちに寄り添える支援を心掛け、努力していきたい。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	27	1	1	2	・保護者同士の意見交換や交流もあり、とても助かる。	保護者会の役員会を園と共同で開催したり、保護者の行事係さんと園との連携、また、5歳児や各グループの交流会等は設けている。きょうだいに対しては、行事への参加の機会はあるが、きょうだい同士の交流等の支援はできていない。保護者の意向もうかがいながら考えていきたい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	1	0	0		できる限り迅速な対応に努めている。更に周知・説明についても徹底していきたい。園からの気付きも大切にし、お声がけしていきたい。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	1	0	0		日常のコミュニケーションを大切に、保護者の方と連絡ノートや会話、必要に応じて電話連絡などを通して情報交換していきたい。子どもに対して、共通理解できるよう配慮し努力していきたい。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29	0	0	2		月一回の園だより、その都度のお知らせや連絡メールで情報提供している。また、2018年度から毎年自己評価を実施し公表している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	1	0	0		個人情報の取扱いに関しては、『同意書』の提出をお願いし、意思確認をさせてもらっている。管理についても充分注意している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	1	0	1		各マニュアルを策定し、必要な分は保護者の方々に周知している。また、様々な想定における訓練の年間計画を立てているので、今後も毎月実施していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30	0	0	1		毎月様々な事態を想定し、実施している。子ども達だけの訓練も多いので、保護者の方やご近所の方も参加できるものを取り入れている。時々、おたよりでもお知らせし、情報提供している。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	0	0	1		子どもの安全については、常日頃から十分配慮したうえで支援しているが、怪我等も時々あるので、更に気を付けていきたい。また、周知もしていきたい。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	1	0	1	・小さなケガ等も必ず連絡がある。 ・たまに先生達が知らないうちにアザなどのケガを作って帰ってくる。いつケガしたか聞いてもわからないと言われる時がある。	必ず状況・処置等も含めて、その日に伝えるようにしているが、ご指摘のように気付かず帰してしまうこともあった。保育の目が行き届くよう、更に配慮していきたい。気付かなかったことについては反省が残り、対応も丁寧にしていきたい。
満足	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	31	0	0	0	・困っていても、すぐに相談でき、安心している。	園でも家に近いくらいの姿を出してもらい、伸び伸び安心して過ごせる空間にしていきたい。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	2	0	0	・友達ができ、行くのを楽しみにしている。	更に保育内容の充実を図り、早く園に行きたいと自然と心から湧き上がる気持ちになってもらえるようにしていきたい。

度							
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	0	0	0	できる限りお一人お一人に丁寧に対応し、安心していただける支援をしていきたい。まだまだ未熟な点もあり、努力しなければならないので、全職員で力を合わせ、満足していただける支援になるよう努力していきたい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		つぼみ園	公表日				2025年1月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	22	0	今年の部屋の人数割合はほぼ適切である。年長児は保育内容的にもークラスにし、活動しやすいようにしている。	日頃から整理整頓を心掛け、なるべく保育空間を保障し、少しでも広く安全に過ごせるように努めていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	20	2	保育内容や出席人数により基準数は満たしつつ、適切な人数に増減し、配置数を工夫している。	基準を満たす体制を組むようにしている。たまに家庭事情等による職員の急な欠員がある場合は、体制以外の職員の応援や保育で工夫し、柔軟に対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	20	2	こどもが階段を使用している時はフォローに付いたり見守ったり、必ず大人が付くようにしている。見通しのよくない箇所は声掛けし合っている。	階段や見通しのよくない箇所はすぐには直せないで、職員が更にこどもに合わせながら配慮し、安全に動けるよう見守りながらサポートし、注意し続けていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	19	3	清潔面においては、心掛けてはいるものの行き届いていない箇所があるので、気付いた時ごとに遅滞なく清掃や修繕を実施している。教室の壁がパーテーションのため、隣の部屋の声が聞こえ集中しづらい時があるので、少し時間をずらす等の工夫をしている。	窓や隅、クロスなどの清掃や修繕が追いついていない箇所がある。日頃できない所は、業者に依頼したり、職員がその都度清掃・修繕し、子ども達が快適に過ごせるようにしていきたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18	4	個別の部屋はないので、園長室や発達相談室などをそれに充てている。発熱等で保護者の迎えを待つ間、これらの部屋で待機している。	その時々、事情のあるこどもが、園長室や発達相談室などを個別に使用することは可能だが、それ専用の部屋ではないので、検討する必要がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	21	1	毎日の反省会や職員会議、また行事ごと等、みんなで振り返り、次につなげていけるように全員のものとしている。	全職員が様々な意見を出し合い、周知徹底し改善に努めていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	22	0	保護者からの意見は、貴重なメッセージとして重く受け止め、尊重し、改善していくようにしている。	保護者からの意向は1つ1つ受け止め、全職員に伝え、改善できる所はすぐに改善を実行していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	2	職員会議や反省などで、話題に出たり気になったりしたときには、その都度話し合って改善や修理を積極的に行っている。	必要な箇所は改善するよう努めている。予算のかかるものは次年度の計画に入れ、今後もそれぞれの声を聞いて、より良い方向で考えていきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	16		法人独自の第三者を交えた評価を行う予定。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	22	0	様々な研修の機会があり、周知できるようにしている。 (リモート、法人内、園内、法人外研修)	研修があり、意識向上はしているが、質の向上に直接つながっているかは、数年後に発揮されることもあり、積み重ねて実力につなげられると良いと思う。また、職員集団としての課題もあると思うので、少しずつ改善していきたい。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	6	作成中だったものが、11月に完成したところです。今年度中に公表予定。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	22	0	こどもに対してのアセスメントを行い、保護者からも記載していただき、それを踏まえてグループ会議を開催し、年2回の発達相談時に個別の支援計画を立てている。	保護者の思いを大切にし、一人一人の子どもに合わせ、生活や発達面の評価も踏まえて計画を立てていきたい。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	22	0	園児をよりよく知る身近なグループ担当者で構成された会議で話し合い、共有して意見をまとめ、こどもの最善の利益を考慮し、計画を立てている。	集団での保育が中心なので、支援にあたる職員は、その個人個人に対して、課題の共通理解を持つよう努力していく。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	22	0	一人一人に添った計画を立て、職員間で共有し、保育につなげている。	計画が職員に周知され、職員により違う対応にならないよう、子どもがわかりやすく生活できる支援を心掛けている。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	22	0	発達検査や園独自のアセスメントシートを使用し、子どもの状況を確認している。発達面の評価は「新版K式発達検査」を主に使用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	22	0	子どもの支援に必要な項目毎に、具体的に支援内容を設定している。	本人支援は設定されているが、他の支援は今後の課題として検討していきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	22	0	職員会議やグループ会議で月一回予定を出し、実行している。	普段から話し合うことを大切にし、意見を出し合い、今後もチーム全体の連携を大切にしていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	22	0	毎日リーダーを交代し、個性を大切に内容を工夫している。こどもが毎日楽しみにできるよう、変化をつけている。	当日の総リーダーやグループリーダーがこどもの視点に立ち、保育を更に楽しいものにしていくよう意識している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	22	0	グループとしての支援であるが、その中で、個別で細やかな所に目標を立て計画している部分もある。個別の変化などに気付き話し合い、支援に取り組んでいる。	集団での目標、個人での目標を、今後も出しながら、一人一人に応じた支援をしていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	22	0	毎朝、朝礼で確認し、配置や全体が分かるように共有している。また、グループ毎に打合せもしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	22	0	毎日、一日を振り返り、反省会を開催している。また、グループノートを通して共有している。	今後も、全員に行き渡るよう、不在だった職員にも伝えていくようにしたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	22	0	日誌やグループノートなどを、毎日記録している。	記録を基に、日々の積み重ねをより良い方向に改善していきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	22	0	半年に一度、モニタリングを行い、こどもの様子を確認し、変化について計画を見直している。	年2回の発達相談時に、様々な面から児を見つめ直し、こどもの最善の利益につながる計画にしていきたい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	22	0	担当保育士、発達相談員、管理者、保健師、教育委員会が参加し、確認の場となっている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	22	0	発達相談日に担当保健師さんなどが同席し、行政との連携支援体制を整えている。	必要な時は、保健師と連携を取り、情報共有し協力し合いながら支援していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22	0	並行通園児について、保育所の先生に発達相談時に同席してもらい、発達状況を共有している。また、会議を設け、申し送りもしている。転園児については、申し送り、連携、体験入園時の同行をしている。	今後も並行通園先と連携させてもらい、より良い支援につなげていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22	0	就学先に申し送り、支援内容を伝え、連携している。体験入学や見学に行く。また、就学先からは、行動観察で来園があり、こどもの情報共有と相互理解を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	21	1	会議等（園長出席）があるので連携させてもらっている。 同法人内では連携できている。	職員全体で、他の事業所との連携はまだできていない。 研修もあるので、積極的に参加を促していきたい。
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	22	0	様々な研修の情報を提供し、参加できるようにしている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	22	0	管理者が、定例会議や研修に参加している。	園からの代表として参加することが多く、職員全体のものになりにくいので、伝達研修をしていきたい。
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				



	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	20	2	コロナ化でなかなか実施できていなかったが、今年度、保育所のこどもとの交流を予定している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	22	0	毎日の連絡ノートや登降園時、また、電話や親子保育日などに伝え合い、共通理解を図っている。	様々な機会を通じて気軽に話ができるようにし、こどもの状況や課題についての共通理解につなげていきたい。そのために、まず職員から声かけをし、信頼関係を深める努力をしていきたい。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	22	0	各種行事、親子保育、保護者教室や年2回の発達相談に参加していただき、情報共有や学習の機会を提供している。また、適宜面談や交流もあり、話せる機会を設けている。	保護者同士の仲間作りも大切だと考え、そのような場としても活用してもらいたい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	22	0	入園説明会において、項目を一つ一つ説明している。また、玄関に掲示物を配置し、自由に閲覧してもらっている。	今後わかりやすく説明していけるよう、努力していきたい。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	22	0	計画を立てる際、保護者の記入用紙があり、思いを記載していただけるようにしている。	保護者、発達相談員、職員、保健師さん同席で確認するので、今後も更にこどもの最善の利益につながるような話をしていきたい。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	22	0	発達相談時、計画を説明し、サインをいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	22	0	年間計画に、グループ懇談や発達相談、進路相談の機会を作り、話ができる場を設け、この機会を大切にしている。また、保護者の発信を見逃さないよう対応している。	定期的以外にも、必要時にはいつでも面談の機会を作っていきたい。 保護者から発信しやすいような受入体制を心掛けたい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	22	0	保護者会や役員会、行事係等と連携し、園と協力、相談し合っている。保護者同士の交流の場も設けている。	コロナも落ち着いたので、保護者が集まれる機会を作って行きたい。 きょうだい参加の行事はあるが、きょうだいを対象にした交流はないので、今後の課題として保護者会とも相談していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	22	0	申し出があった時、又は園からの気付きがあるときは必ず迅速に対応するよう心掛けている。	すぐに相談できる環境を作り、小さなことでも話せる場があるよう、安心できる所にしていきたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	22	0	毎月のおたよりや、その都度のお知らせを発行している。また、連絡網で緊急連絡も発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	22	0	同意書をもらい、個人情報は施錠のうえ保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	22	0	こどもへの声掛けについては、なるべくわかりやすく伝えるよう意識している。 お知らせ等もわかりやすい記載にしている。	保護者への連絡等は、職員は慣れた中で説明してしまうので、より丁寧に伝えるよう、気をつけていきたい。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	22	0	行事の招待状や通信などの配付、散歩先での挨拶等を大切にしている。	今後できる限りの交流を心掛け、子ども達を大事にしてもらいたい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	22	0	各マニュアルを策定し、様々な想定訓練を毎月実施している。	おたよりでも実施訓練を都度掲載し、今後も周知に努めるようにしていきたい。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	22	0	BCPを策定し、毎年見直している。また、月一回の避難訓練も実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	22	0	入園時に医師の意見書を提出してもらい、確認している。その他、健康調査等の書類も記入してもらっている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	22	0	入園前の聞きとりや医師の意見書を提出してもらい、それを基に指示に従い対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	22	0	安全第一に保育を行っている。	

対 応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20	2	避難訓練等の予定日を、毎月の園だよりに掲載している。また、年3回程度、避難訓練の様子を写真で周知している。	まだ不十分な面があると思うので、今後の課題である。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	22	0	作成し活用している。 発生した時は、全員に回覧・共有し、事故防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	22	0	研修や虐待チェックシートの記入を定期的 に実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	22	0	現在、対象児はいない。 身体拘束に関する研修を全職員が受講している。	